

**患者さん優先
無料シャトルバスの
のりばのご案内**



発着所



西武新宿線・拝島線
多摩湖線
Seibu Shinjuku Line, Haijima Line,
Tamako Line

萩山駅
“Hagiwara” Station
南口・ロータリー前
In front of rotary at South Exit

萩山駅発	
8時	30
9時	00 45
10時	15 45
11時	15
12時	45
13時	15 45
14時	15 45
15時	15
16時	15



国立精神・神経医療研究
センター病院
National Center Hospital,
National Center of Neurology and Psychiatry

NCNP 病院
NCNP Hospital
ロータリー前
In front of rotary

	病院発	
	新小平駅方面	萩山駅方面
9時	10 50	40
10時	20 50	10 40
11時	20	10
12時	50	40
13時	20 50	10 40
14時	20 50	10 40
15時	50	10
16時	20	10



JR 武蔵野線
JR Musashino Line

新小平駅
“Shinkodaira” Station
けやき歯科クリニック付近
Near Keyaki Dental Clinic

新小平駅発	
8時	15 45
9時	20
10時	00 30
11時	00 30
12時	30
13時	00 30
14時	00 30
15時	00
16時	00

平日(月～金曜日)のみ運行致します
土日祝日は運休となります

【お問い合わせ先】

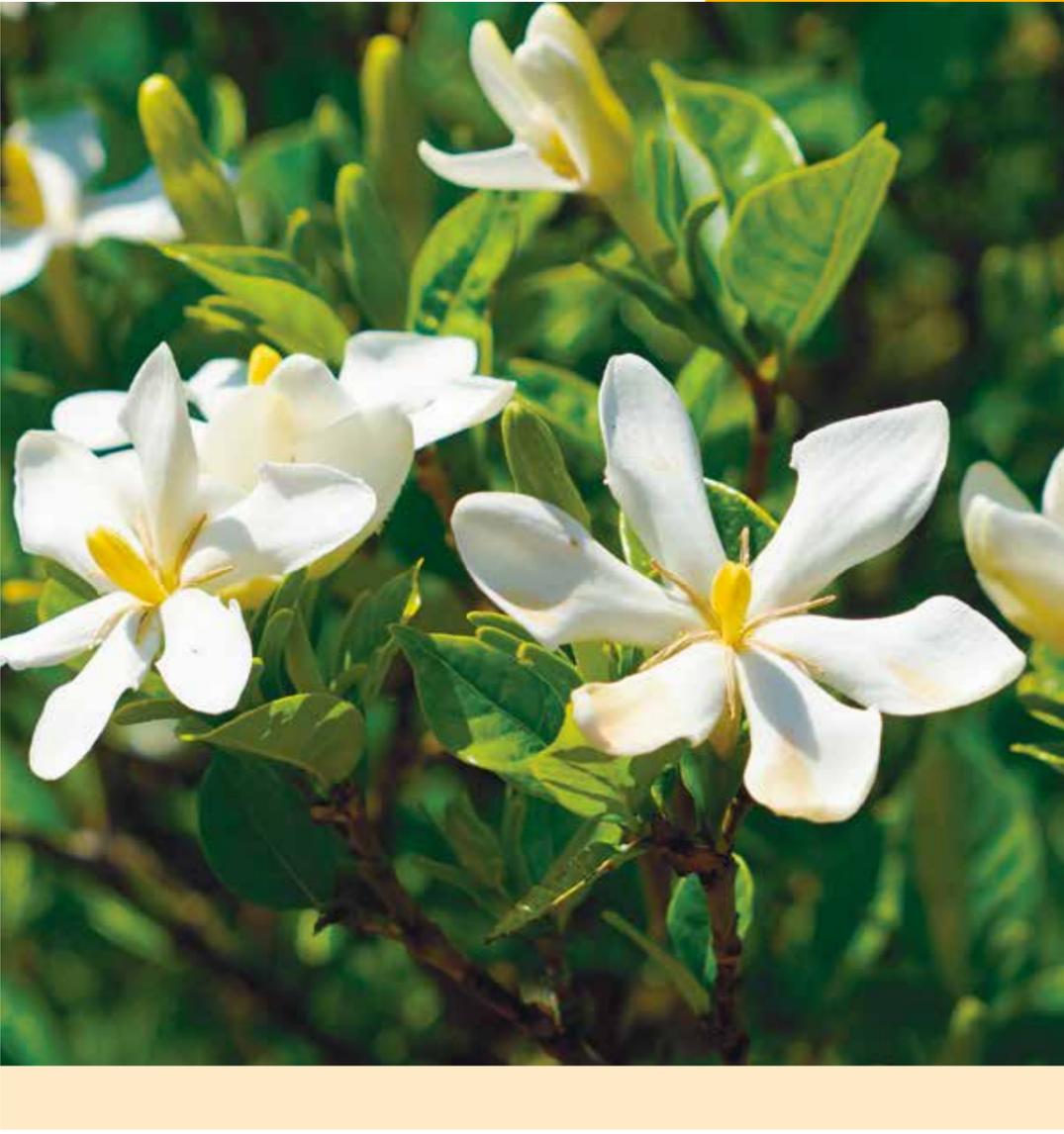
国立精神・神経医療研究センター病院 広報室 → TEL : 042-341-2711 (内線 5601)

NCNP 診療ニュース

T O P I C S

**石川県珠洲市の珠洲市総合病院へ
被災医療機関支援派遣**

2024.5
Vol.40



診療科紹介

麻酔科部

各部門紹介

栄養管理室
臨床心理室

専門疾病センター紹介

筋疾患センター
嚥下障害リサーチセンター

石川県珠洲市の珠洲市総合病院へ 被災医療機関支援派遣



看護部長 中村 直子



珠洲市総合病院

被災地での活動は自給自足が原則です。水や非常食、衛生材料等を持参し、病院のホールを借り、寝袋にくるまって休みます。食事介助や清潔ケア、病室の掃除など、支援業務は普段行っていることと変わりはありませんが、空き時間に現地の職員の方から被災体験を伺うことや、変わり果てた街の様子を見ることで、被害の大きさを実感し、これからも長く続く復興への道のりに心を痛めました。短い期間ではありましたが、当院の看護師が寄り添い、話を伺うことで次の一歩を踏み出す力になれば幸いです。

また、東京もいつ大規模な災害に見舞われるかわかりません。今回の支援経験を、当院の防災・減災対策や事業継続計画に活かしていきたいと考えています。

2024年1月1日、家族でのんびりとお正月を味わっている時間帯に大きな地震が起き、能登では建物の倒壊や津波で大きな被害となりました。耐震設備が整っている病院も例外ではありません。建物被害は小さく済んでも、上下水道の復旧に時間がかかっている上に、避難生活を強いられ出勤できない職員が大勢おり、通常の診療を継続できない施設が数多くあります。

そこで、全国のナショナルセンターでは厚生労働省からの指示を受け、交替で珠洲市総合病院を支援することになりました。当院からは2月6日～12日までと、3月5日～10日までの期間に各5名の看護師が病棟や救急外来の業務を担いました。

電気は復旧していましたが、水の使用には制限がある中での活動です。手術や透析ができないため、重症の患者さんは金沢や他県に搬送されていました。支援看護師は、主に感染症や脱水などで体調を崩された患者さんのケアにあたりました。



のどかな街並みが一変



食料・水・衛生材料等を持参



病院内で寝泊まり

NCNP
病院
診療科紹介

麻酔科部



手術や侵襲的治療によるストレスを 可能な限り軽減

麻酔科は手術や身体への負担を伴う治療を受ける患者さんの安全を守り、その侵襲的ストレスから解放する科です。そのため、麻酔科医は患者さんそれぞれの状態に適合した麻酔方法を選択し、手術中には呼吸循環等生命を維持するための管理を適切に行います。

NCNP病院麻酔科部は修正型電気痙攣療法(mECT)や、主にてんかん領域の脳神経外科手術、および神経疾患や筋疾患等の患者さんの外科的手術の麻酔管理を行なっています。外科的手術には外科、整形外科、耳鼻咽喉科、歯科処置など内容は多岐に渡ります。それらを合わせると昨年2023年は約1200件の麻酔管理を実施しました。



当院は昨年夏まで常勤医に麻酔科専門医がいなかったため麻酔科学会認定病院の資格を一時的に喪失していました。現在は常勤専門医および3名の非常勤医で麻酔管理を行っており、全員専門医以上の資格を有し、2023年12月1日より公益社団法人日本麻酔科学会から麻酔科認定病院に再認定されました。

患者さんが全身麻酔で手術や侵襲的処置を受けることは人生の中でもなかなか無いことだと思います。耐えがたい苦痛を伴うものとして不安も大きいと思



麻酔科部長 太尾田 正彦

ますが、NCNP病院では麻酔科スタッフおよび手術室勤務員が一丸となって全力で可能な限り、その苦痛を軽減いたしますので、患者さんには安心して手術に臨んでいただければと思います。

具体的には、麻酔方法や麻酔薬を、それぞれの病態に応じて組み合わせ、使用する種類や量を選択していきます。主に吸入麻酔(セボフルラン、デスフルラン)、静脈麻酔薬(ラボナール、ミダゾラム、プロポフォール、レミマゾラム)、麻薬性鎮痛剤(レミフェンタニル、フェンタニル)等を当院では使用しています。筋弛緩が必要な場合には筋弛緩薬(サクシニルコリン、ロクロニウム等)を適宜使用します。

術中は脈拍、呼吸、体温、血圧、意識レベルなどのバイタルサインを常に監視し、筋弛緩モニター・脳波モニター(BISモニター)等の生体情報をリアルタイムに観察し、侵襲の度合いに合わせ、各麻酔薬の量の調整を行なっています。

このような手術や侵襲的治療の局面だけでなく、例えば主治医の先生方からの要請により院内で呼吸管理や痛みの管理が必要な患者さんへの対応も行なっています。各科の先生方との連携も大切な仕事です。

今後毎日進歩の医療技術に遅れることのないよう随時モニター類を更新整備し、研鑽を積みながら適切に安心安全な麻酔管理ができる技術と環境を整え続けていきたいと考えています。

栄養管理室

NCNP病院
各部門
紹介

栄養管理室長 森田 茂行

令和6年度から新たなメンバーで邁進します

当院の管理栄養士で常勤の職員は一定の所属期間が経過いたしますと同系列病院への転勤があり、令和6年度から新たなメンバーを迎えました。

管理栄養士の転勤で、赴任先が現施設と異なる地域になりますと、驚くほど食生活や食への感性が異なることを経験し実感いたします。そこでは、日本食文化の奥深さ、食への思いの強さというものを肌で感じる事ができ大変勉強になります。地域ごとの食の違いを把握した上で、患者さんの栄養食事指導に臨むことが、治療貢献に結び付く指導になるのだと思います。食事による療養は「栄養量のみの遵守にあらず」です。患者さんの心に寄り添い、受けてみたくなる栄養食事指導の実施を心がけ栄養管理室一同、新たなメンバーを迎えて邁進したいと思います。



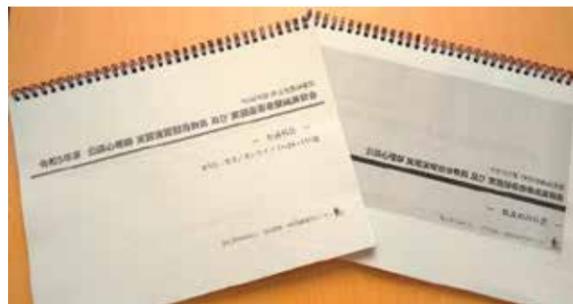
臨床心理室

臨床心理室長 今村 扶美

公認心理師の法定講習会を行いました

公認心理師制度が開始されてから5年以上経過し、公認心理師の実習指導を行う指導者を養成するための法定講習会が始まりました。初年度となった2023年度は、公認心理師の関連団体・関連学会の先生方のご協力のもと、当院の臨床心理室が主催・事務局の役割を担いました。大学等の養成機関で指導する先生と臨床現場で実習を担う先生約1000名がともに学び、各現場の状況を共有したり、スキルアップを図ったりする場となり、95%以上の参加者から満足できる講習会だったとの評価をいただきました。

医療機関においても、少しずつ公認心理師の活躍の場や診療報酬適用となる業務が広がっています。臨床心理室では、ナショナルセンターの心理部門として、臨床活動の他にもこうした公的な役割や研究事業など、社会に役立つ活動に積極的に取り組んでいます。



筋疾患センター

筋疾患センター長/
トランスレーショナルメディカルセンター長 小牧 宏文

多部門が連携し先駆的な診療、研究を展開

多部門が連携し最新の知見に基づき診療や研究を行っています。NCNPは長年にわたる筋疾患の診療、研究の実績を有しており、それらの経験をもとに筋疾患の医療向上を目指した活動を行っています。日本で最も多く筋疾患の診療を担当している病院の一つであり解説している専門外来には全国各地から患者さんが受診されています。筋疾患と確定していない場合でも問題ありませんので、お気軽に紹介いただければと思います。NCNPは筋ジストロフィーを対象とした医薬品の開発でも中心的な役割を担っており、2020年に承認されたデュシェンヌ型筋ジストロフィーの治療薬ビルテプソの開発にも大きく貢献しています。



2024年7月に実施予定の市民公開講座のパンフレット

専門疾病センター

NCNP病院には現在12の専門疾病センターがあります。
診療科や専門分野を超えたチームにより高度専門的医療を行います。

嚥下障害リサーチセンター

奮起一新： 嚥下障害リサーチセンターの挑戦

病院脳神経内科医長・嚥下障害リサーチセンター長
山本 敏之



嚥下障害リサーチセンターは、2017年に設立され、精神科及び脳神経内科関連の嚥下障害克服を目指し、多職種の専門家が連携し、質の高い医療を提供することに尽力しています。

新型コロナウイルスの影響で一時制限された、嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査、摂食嚥下リハビリテーションは、徹底した感染予防措置の下、入院患者さん限定で再開しました。さらに、ウェブを利用した市民公開講座、医療従事者に向けたeラーニングプログラム、患者さん及びその家族向けの刊行物の発行、新しい研究成果の論文発表など、多方面にわたる活動を展開しています。これらの取り組みにより、診療と研究の両面で、この分野の発展に貢献していきます。

マイナ保険証について

財務経理部医事課
金子 照慶

従来の保険証は令和6年12月2日をもって廃止されることが決まっており、現在、政府はマイナ保険証への移行を進めています。

マイナ保険証を利用すると以下のようなメリットがあります。

- 医療機関を受診した際に、お薬の情報や健診結果の提供に同意すると、医師等からご自身の情報に基づいた総合的な診断や重複する投薬を回避した適切な処方を受けることができます。
- 高額な医療費が発生する場合でも、マイナンバーカードを保険証等として使うことで、ご自身で高額な医療費を一時的に自己負担したり、役所で限度額適用認定証の書類申請手続きをする必要がなくなります。
- マイナポータルから保険医療を受けた記録が参照できるため、領収証を保管・提出する必要がなく、簡単に医療費控除申請の手続きができます。
- 就職・転職・引越後も新しい健康保険証等の発行を待たずに、医療機関・薬局で利用できます。

当院でもマイナ保険証の受付機を設置していますので、ぜひご利用ください。

また、今後、電子処方箋にも対応予定です。電子処方箋を利用すると下記のようなメリットがあります。

- 「電子処方箋管理サービス」というシステムに登録された自身や家族が服用している薬の情報を、医師・薬剤師等がデータで確認できるようになり、お薬手帳を忘れてしまった場合でも曖昧な記憶に頼ることなく服用している薬を医師等に伝えることができます。
- 患者さんと看護にあたる家族の間での処方箋受

け渡しや、薬局来局時に処方箋を忘れて自宅へ取りに戻るようなことがなくなります。また、薬局に行く際、事前に引換番号を伝えることで、薬局側は複数の薬を服用時点ごとにまとめて飲みやすくする一包化に前もって取りかかることができるなど、薬局での待ち時間短縮に繋がります。

- 医療機関・薬局から登録された処方・調剤情報をすぐに見ることが出来ます。また、マイナポータルを通して患者自身が閲覧できる電子処方箋の処方・調剤情報を、アプリ上に表示することができる電子版お薬手帳アプリも登場しています。検索機能、服薬アラーム機能やアレルギー・副作用の情報記録機能と組み合わせることで、自分の健康管理に役立ちます。

患者さんの利便性向上のため今後も様々な取り組みを進めていきます。



マイナ受付 対応しています
医療機関や薬局で、保険証の代わりにマイナンバーカードを使う新たな方法。それが「マイナ受付」です。

マイナ保険証が保険証として使えます。

マイナンバーカードを保険証として使うと
より良いサービスが利用できます！
※マイナ保険証はマイナポータルから申請できます。マイナ保険証の申請にはマイナIDが必要です。マイナIDの申請にはマイナIDカードが必要です。マイナIDカードの申請にはマイナIDカードが必要です。

このステッカーが目印！
マイナ受付

厚労省 詳しくは マイナポータル

ご存じですか？ NCNP 及び NCNP 病院 公式アカウント

ぜひ、フォロー・チャンネル登録をお願いします!!

X https://twitter.com/NCNP_PR

YouTube <https://www.youtube.com/user/NCNPchannel>

Instagram https://www.instagram.com/ncnp_pr/ **NCNP公式**
https://www.instagram.com/ncnp_hospital/ **院長室**

NCNP公式 院長室

NCNPプレスリリース (<https://www.ncnp.go.jp/topics/>)

- ダウン症関連遺伝子DSCAMが過剰グルタミン酸の除去を介し、健全なシナプス機能と神経発達、小脳運動学習に関わることを発見
- 心的外傷後ストレス障害(PTSD)の分子機構の解明—cAMP情報伝達経路の過活性化がPTSDの原因となる—
- 視神経脊髄炎の重症度・脳萎縮と関連するB細胞の特徴を解明: ~血液中のCD11c high B細胞に基づく理解~
- 動作中に手で触れる物の感覚を感じにくいのはなぜか?の仕組みを解明
- 睡眠を妨げる習慣を定量化する鍵に ~就寝を先延ばしする傾向を測定する日本語版尺度を開発~
- 神経性やせ症(拒食症)の脳機能異常を網羅的に解明 世界初 多施設共同研究によるfMRIデータの大規模解析

Nature

NCNP四季便り

トランスレーショナル・メディカルセンター
永井 秀明

スイカズラ(忍冬)

漢字名と読みが違う植物のひとつです。
読みの由来は、子供が花を摘んで蜜を吸い、茎がつる性=葛(カツラ)なので「吸い葛」。

漢字は、冬も葉を落とさず寒さを耐え忍んでいるから、だとか。

冬の寒さに耐えているのは他の常緑樹も同じなのに、なぜこれだけが忍んでいると見たのでしょうか？

冬には葉の端を巻き込みます。これが体を縮めて寒さに耐えているように見えるからという説があります。



冬のスイカズラ